人と企業に選ばれるまち
裾野市

すそのん報道提供資料

裾野市マスコットキャラクター

令和６年 12 月 24 日

サウンディング調査(対話)結果の公表

民間施設を活用した廃棄物処理体制の構築に向けて

裾野市では、裾野市美化センターに替わる新たな一般廃棄物処理体制の構築に向けて、民間事業者から広く意見や提案を求め、「対話」を通じて民間事業者の意向等を把握する「サウンディング調査」（以下、「調査」という。）を実施したので、以下のとおり調査結果の概要を公表します。

１　実施日　令和６年９月 17 日（火）、９月 18 日（水）

２　参加者数　２者

３　調査結果の概要

参加者からの提案に基づき対話を行いました。　※詳細は別紙をご参照ください。

４　今後の方針

新たな一般廃棄物処理体制の方針策定に向け、広域連携（３市２町）による処理、公民連携（既存施設活用案、新施設建設案）による処理等の検討を進めます。

問合せ／裾野市　環境市民部　生活環境課　担当：杉山

℡055-995-1816

担当
裾 野 市 環境市民部 生活環境課
電　　話 055-995-1816
担当課長：　井上
担 当 者：　杉山

裾野市環境市民部生活環境課

民間施設を活用した一般廃棄物処理体制の構築に係る
サウンディング調査（対話）結果の公表

１　サウンディング調査の経緯

裾野市では、新たな一般廃棄物処理体制の構築に向けて、民間事業者から広く意見や提案を求め、「対話」を通じて民間事業者の意向等を把握する「サウンディング調査」（以下、「調査」という。）を実施したので、調査結果の概要を公表します。

２　調査の実施スケジュール

提案書の提出	令和６年９月 11 日（水）17 時まで
対話の実施	令和６年９月 17 日（火）、18 日（水）

３　参加者

２者

４　対話の概要

- 建設用地については、電気などの利用が可能であり、開発許可基準を満たすことを条件としていました。
- 施設については、焼却方式を基本として、その他に付帯施設を検討する提案がありました。施設規模や処理単価は参加者により異なりました。
- 処理対象の産業廃棄物について、幅広い品目の受入れを想定していました。
- 事業スキームとしては、公民連携方式の提案がありました。
- 処理単価が上昇する要因について、物価変動を反映した単価見直しの提案がありました。
- 行政に期待することは、地元との調整や行政機関内の調整などがありました。

５　調査結果を踏まえた今後の方針

新たな一般廃棄物処理体制の方針策定に向け、広域連携（３市２町）による処理、公民連携（既存施設活用案、新施設建設案）による処理等の検討を進めます。